



年始行事

士友会行事

令和3年度旅団指揮所訓練

感謝状贈呈

連隊は、1月11日(火)連隊グラウンドにおいて「連隊年始行事」を実施した。「だるまの目入れ」「3曹昇任式」「連隊長年頭の辞」の内容で年始行事を実施して、令和4年を新たな気持ちで職務に邁進する気概を醸成した。また、陸士が企画から実行を全て担任する士友会行事「スノー・フラッグ競技」を開催して、陸士の自立心向上を促進するとともに、凜冽とした競技に臨む姿勢と奮闘により連隊全体の士気高揚と団結強化を図った。



だるまの目入れを行う松本連隊長



3曹昇任者による抱負発表



士友会行事において初優勝果たした本部管理中隊

最先任上級曹長基本基礎訓練

連隊は、1月14日(金)から1月20日(木)までの間、雄志館及び西岡演習場において「最先任上級曹長基本基礎訓練」を実施した。本訓練は、中級陸曹以下の分隊長未経験者を対象に実施し、戦術の基礎的事項を習熟させるとともに、実員指揮能力の向上を図った。戦術基礎においては、中級陸曹課程教育資料から抜粋した基礎的事項を教育し、攻撃及び防御の概要を習熟させ、分隊陣地攻撃については、隊員主導による攻撃命令の作成、実習、AARを反復させ、自ら考え行動する(できる)ことを認識するとともに、実員指揮能力を向上させることができた。



冬季衛生教育中の田中2曹(衛生小隊)



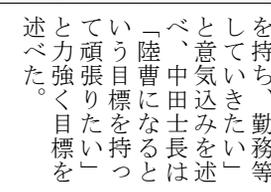
雪上で射撃する佐久間士長(1普中)



丁車に教育する寺本3曹(本庫中)



上級スキー指導官目指す葉業2曹(本管中)



成人を迎えた隊員と連隊長との集合写真

令和3年度連隊冬季戦技(新補職者・指導官候補者)集合訓練

連隊は、1月11日(火)から「令和3年度連隊冬季戦技集合訓練」を開始した。「新補職者集合訓練」では、北方勤務が初めての隊員及び新配属隊員を対象とし、新型コロナウイルス感染症防止対策を万全にし、歩き方から滑降技術等段階的に訓練を。指導官候補者集合訓練では、冬季作戦行動のプロを日指し更なる練度を向上を目指し訓練に邁進した。

連隊は、1月17日(月)から1月24日(月)までの間、真駒内駐屯地及び東千歳駐屯地において「令和3年度旅団指揮所訓練」に参加した。本訓練は通称「ICE」と呼ばれるコンピュータを活用した指揮所訓練であり、シミュレーションにより様々な状況を想定して、連隊本部機能の指揮幕僚活動能力の向上を図る訓練である。連隊本部各幕僚の指揮の下、各中隊の訓練参加者は、刻々と移り変わる実戦さながらの戦況に対応すべく、真剣な眼差しで訓練に臨み、その練度を向上させた。



作戦等を綿密に確認する中尾1尉(1普中)



敵情を正確に掌握する井戸1曹(第2科)

初級装軌操縦集合教育

連隊は、1月11日(火)から1月21日までの間、真駒内駐屯地及び北海道大演習場西岡地区において「初級装軌操縦集合教育」を実施した。本教育では、装軌車操縦要員7名に対し装軌操縦手として必要な知識及び技能を修得させ、「初級装軌操縦」の特技を付与した。「はやく演習場で大雪を扱えるようになりたい」と畑井2曹(1普中)が述べた。

真駒内駐屯地成人祝賀行事

連隊は、1月12日(水)真駒内駐屯地体育館において「成人祝賀会」に参加した。参加した成人した隊員は「社会人として自衛官としてこれからは責任と自覚を持ち、勤務等としていきたい」と意気込みを述べ、中田士長は「陸曹になるという目標を持つと力強く目標を述べた。」

旅団友の会(18普通連いっばち会)に入会以来、同会の事業に積極的に参加・協力し、会員の増勢及び会の運営・発展、地域住民と自衛隊の架け橋として防衛基盤の育成に貢献した功績により感謝状が贈呈されました。

■旅団長表彰
株式会社 エポック設計
代表取締役 大野 龍次 様

■駐屯地司令表彰
有限会社 丸和置田佛具店
代表取締役 置田 陽一 様

(ご受賞おめでとうございます)

隊員コーナー

昨年12月9日に第一子となる着次が生まれました。武道競技会前の打ち込みの最中に病院から連絡が入り中隊の御配慮で出産に立ち会うことができました。妻と新家族の誕生に思わず嬉し泣きしてしまいました。これからは一児の父親として、また自衛官として周りの人々への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきたいと思っております。これからもよろしく願います。

第3普通科中隊 清水3曹





感謝状贈呈

旅団友の会(18普通いっばち会)入会以来、同会の事業に積極的に参加・協力し、会員の増勢及び会の運営・発展、地域住民と自衛隊の架け橋として防衛基盤の育成に貢献した功績により感謝状が贈呈されました。

旅団長表彰

株式会社 エポック設計

代表取締役 大野 龍次 様

駐屯地司令表彰

有限会社 丸和置田佛具店

代表取締役 置田 陽一 様

ご受賞おめでとうございます

国際貢献活動 派遣見送り行事

連隊は、1月25日(火)真駒内駐屯地において実施された「国際貢献活動派遣見送り行事」に参加して、連隊から派遣される細川2尉は、国際活動への参加を目指し自ら語学を勉強するとともに、英語課程を修了し、今回の長年の希望が叶う形となった。「初めての活動・任務となりますが、できることを一杯実施して貢献したい」と意気込みを述べ、駐屯地を出発した。



隊員に盛大に見送られ出発

晴れやかな表情の細川2尉(写真中央)

年始行事 士友会行事

連隊は、1月11日(火)連隊グラウンドにおいて「連隊年始行事」を実施した。「だるまの目入れ」「3曹昇任式」「小職年頭の辞」の内容で年始行事を実施して、令和4年を新たな気持ちで職務に邁進する気概を醸成した。また、陸士が企画から実行を全て担任する士友会行事「スノー・フラッグ競技」を開催して、陸士の自立心向上を促進するとともに、深淵とした競技に臨む姿勢と奮闘により連隊全体の士気高揚と団結強化を図った。



松本連隊長の「年頭の辞」



3曹昇任者による抱負発表



だるまの目入れを行う松本連隊長



隊員が見守る中、フラッグを争奪する参加選手



士友会行事において初優勝果たした本部管理中隊

令和3年度B-I-C-E

連隊は、1月17日(月)から1月24日(月)までの間、真駒内駐屯地及び東千歳駐屯地に於いて「令和3年度旅団指揮所訓練」に参加した。本訓練は通称「ICE」と呼ばれるコンピュータを活用した指揮所訓練であり、シミュレーションにより様々な状況を想定して、連隊本部機能の指揮幕僚活動能力の向上を図る訓練である。連隊本部各幕僚の統制の下、各中隊の訓練参加者は、刻々と移り変わる実戦さながらの戦況に対応すべく、真剣な眼差しで訓練に臨みその練度を向上させた。



作戦等を精密に確認する中尾1尉(1曹中)



職関状況を徹底する小泉曹長(第4科)



敵情を正確に掌握する井戸1曹(第2科)

令和3年度連隊冬季戦技 集合訓練 (新補職者・指導官候補者)

連隊は、1月11日(火)から「令和3年度連隊冬季戦技集合訓練」を開始した。「新補職者集合訓練」では、北方勤務が初めての隊員及び新配属隊員を対象とし、歩き方から滑降技術等段階的に訓練をした。「指導官候補者集合訓練」では、スキー技術の高練度者を対象とし、冬季作戦のプロを目標として、スキー技術の更なる練度を向上を目指し訓練に邁進中である。



丁寧に教育する寺本3曹(本管中)



上級スキー指導官目指す葉業2曹(本管中)

初級装軌操縦 集合教育

連隊は、1月1日(火)から1月21日までの間、真駒内駐屯地及び北海道大演習場西岡地区において「初級装軌操縦集合教育」を実施した。本教育では、装軌車操縦要員7名に対し装軌操縦手として必要な知識及び技能を習得させ、「初級装軌操縦」の特技を付与した。



真駒内駐屯地 成人祝賀行事

連隊は、1月12日(水)真駒内駐屯地体育館において「成人祝賀会」に参加した。参加した成人した隊員は「社会人として自衛官としてこれからは責任と自覚を持ち、勤務等していきたい」と意気込みを述べた。



成人を迎えた隊員と連隊長との集合写真

隊員コーナー

昨年12月9日に第一子となる男の子が生まれました。武道競技会前の打ち込みの最中に病院から連絡が入り中隊の御配慮で出産に立ち会うことができました。妻と新家族の誕生に思わず嬉し泣きしてしまいました。これからは一児の父親として、また自衛官として周りの人々への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。 第3普通科中隊 清水3曹

自衛隊は、あらゆる任務に対応するため春夏秋冬、季節を問わず教育、演習、射撃等の訓練を行なっています。

今回はその一例として、我々第18普通科連隊がマル月マル日からマル日の四日間、実際に行った冬季演習の模様を紹介させていただきます。

演習初日であるまるにち、重い背嚢を背負い白色装備に身を包んだ隊は、演習場にてスキー行進に臨みました。

しかし、夜通し続けられるスキー行進は、若年隊員にとって決して容易なものではありません。先輩隊員に支えられチームワークを発揮して、二日早朝に無事に完歩することができました。

翌日から、防衛部隊は陣地を構築し、攻撃部隊は偵察を行う等、それぞれの任務を開始しました。

冬季における戦闘行動は、凍傷や低体温症に注意して行われました。